



シラバス参照

タイトル「**2015年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2015年度 教養科目シラバス-2015年度「教養の森」科目群【科目群1】**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	「学問」と私2		
担当教員	菅原 真弓 未定		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	金 5	単位区分	
授業形態	講義・演習	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 人数制限有（25名）、高大連携受講者は別枠受講可		
科目名（英語表記）	My disciplines and I vol.2		
授業の概要・ねらい	<p>本学の教員にも、大学生だった時は無論ありました。普通の大学生が何らかのきっかけで何らかの学問に出会い、それを何らかのご縁によって一生の仕事として選んだ結果、今こうして本学の教員としてあります。通常は聞くことがないであろう教員の「学問」との出会いと今をオムニバスで語る授業です。</p> <p>① どうしてその学問を選んだのか② どのようなきっかけで専門とするテーマに出会ったのか③ 今、どのようなテーマに関心を持っているのか④ 自らの専門とする「学問」の魅力、などについてそれぞれ講義形式で語った後、受講者との質疑応答時間を長く設けて双方向性の授業形態とします。</p>		
授業計画	初回ガイダンスと最終回のまとめを除く13回は、主に前期開講「学問と私1」の受講者によるリクエストと学内公募などをも視野に入れて、各回担当教員を決定します。		
到達目標	教員それぞれの研究分野についての講義を受けることで、それぞれの学問分野に広く豊かな関心を持つこと、また様々な研究分野について理解しようと努め、自らの関心の幅を広げていくことを到達目標とする。		
成績評価の方法	小レポート（リアクションシートの記述）20%、授業内での発言20%、期末レポート60%		
教科書	なし		
参考書・参考文献	なし		
履修上の注意・メッセージ	授業では毎回、授業担当教員が作成した資料を配布します。資料にはそれぞれの分野の学びを深化させる参考図書を示しますので、授業を「聞く」だけではなく、授業後、積極的にこれらを読むようにして下さい。また双方向性の授業を企図しますので、一回の授業で必ず一回は発言するよう心掛けて下さい。		
履修する上で必要な事項	各回の授業では必ず次回の予告をし、予習しておくべき事柄（読んでおくべき文献など）があれば告知します。また各回担当者の専門分野について本学HP「研究者総覧」などを事前に確認し、当該分野、そして研究者自身についての関心を高めておいて授業に参加してください。		
受講を推奨する関連科目	「教養の森」ゼミナール		
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。		
その他連絡事項			

